

平成27年館林市議会第2回定例会
一般質問通告順位表

1. 橋本 徹 君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 館林市のごみ回収事業について	<p>私たちが生活していく上で、必ずと言っていいほど出るのがごみです。ごみ出しルールの周知やステーションのあり方、また、分別収集を行うメリットなど、ごみに関することをテーマに行政の対応について伺います。</p> <p>①ごみステーションのあり方について。 ②分別収集の成果等について。 ③ごみの減量化に向けた取り組みについて。 ④不法投棄の現状と対策について。 ⑤たてばやしクリーンセンター（仮称）の進捗等について。</p>	所管部長
(2) 公共工事のあり方について	<p>行政が道路や橋などの社会資本の整備を目的に行われる建設工事（土木・建築等の作業）を行うことは、よりよいまちづくりには欠かせないと思います。工事の発注は、原則として競争入札（一般競争入札・指名競争入札）により執行されますが、公共工事における入札等のあり方等について伺います。</p> <p>①指名業者のランク付けと選定基準について。 ②予定価格の公表と適正化について。 ③建設残土の処分について。</p>	所管部長

2. 河野 哲雄 君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 本市の若者の引きこもり、ニートの支援策について	<p>社会的に孤立し放置されている若者の「引きこもり」や、定職を持たない「ニート」が社会問題となっているが、本市の現状と「子ども・若者育成支援推進法」を踏まえた取り組み等について問う。</p>	所管部長

	<p>①「子ども・若者育成支援推進法」の認識と対応は。</p> <p>②「引きこもり」や「ニート」の実態把握は。</p> <p>③「引きこもり」者やその家族に対する支援は。</p> <p>④「ニート」に対する就労支援対策は。</p>	
(2) 学校教育における情報機器の利活用について	<p>児童・生徒の学力向上や情報教育の推進に向け、学校におけるICT機器を充実させることが必要であると思うが、本市における情報教育の現状や今後の方向性等について問う。</p> <p>①小・中学校におけるICT機器導入の現状は。</p> <p>②学校教育の中でのICTの活用状況は。</p> <p>③教員に対するICT研修会の開催について。</p> <p>④不登校の児童・生徒への対応は。</p> <p>⑤今後の推進計画について。</p>	所管部長
(3) マイナンバー制度について	<p>平成25年5月にマイナンバー関連4法が公布され、平成28年1月から社会保障や税などの行政手続きで利用されることとなるが、システムの改修等や個人情報の保護など、多くの課題がある。本市における現状や今後の取り組み等について問う。</p> <p>①マイナンバー制度導入に向けた予算の想定や準備のための業務の状況は。</p> <p>②マイナンバー制度の導入に当たり、個人情報保護について、どのような対策を講じるのか。</p> <p>③本市のマイナンバー制度への不安解消策は。</p> <p>④マイナンバー制度の周知は、どのように図るのか。</p>	所管部長

3. 齊藤貢一君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) マイナンバー制度について	<p>平成25年5月24日に「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律」、いわゆるマイナンバー法案が成立し、平成25年10月から12桁のマイナンバーが付番され、平成28年1月から行政手続きで活用されるが、本市の状況について伺います。</p>	所管部長

	<p>①マイナンバー制度についての考えと移行スケジュールについて。</p> <p>②当市の利用事務内容とシステムづくり、各課情報共有連携について。</p> <p>③条例整備等の今後の対応について。</p>	
(2) 地方創生について	<p>地方版総合戦略策定に向けて、当市の基本的な考えを伺います。</p> <p>①検証機関の設置、策定期間等に関して。</p> <p>②将来人口の展望に関して。</p> <p>③広域連携、特に両毛地域をにらんだ地方中枢拠点都市構想について。</p>	所管部長
(3) 自転車講習について	<p>平成25年の改正道路法により、自転車通行に関して罰則が強化され、また今年6月より講習の義務化が施行されたのを受け、考えを伺います。</p> <p>①通学時、家庭等への自転車法規等の安全教習についての現状について。</p> <p>②講習義務化が施されることにより、生徒の一部が対象となる対応について。</p>	所管部長

4. 青木幸雄君 【総括質問】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 産業（工業）団地について	<p>①渡瀬南部産業団地・北部第三工業団地の過去からの経緯について。</p> <p>②渡瀬南部産業団地・北部第三工業団地の現状について。</p> <p>③公共機関で開発し民間に払い下げる時の条件について。 (税金などの恩典について)</p> <p>④買い取った企業の今後の計画について。</p>	所管部長
(2) 市道の整備について	<p>①舗装の現状と経緯について。</p> <p>②道路占用者への復旧指導について。</p> <p>③今後の整備方針について。</p>	所管部長
(3) 新病棟の完成（厚生病院）に伴う地域医療について	<p>①新病棟周辺の整備について。</p> <p>②地域医療の取り組みについて。</p>	所管部長

5. 渡辺充徳君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) いじめ対策について	<p>いじめ対策について、いじめ認知件数等経年的推移状況、いじめ防止対策の取り組み状況の確認。いじめ加害者への指導、いじめ被害者への支援状況。いじめ被害者が誰にも相談しない、相談行動の抑制への対応を尋ねる。</p> <p>いじめ抑止を目的とした教育的プログラムの有効性の確認と導入推進についての当局の見解を尋ねる。</p> <p>①いじめの状況について。 ②いじめ防止対策の取り組み状況と課題について。 ③いじめ加害者・被害者への対応状況について。 ④いじめ被害者の相談行動の抑制への対応について。 ⑤いじめ抑止を目的とした心理教育的プログラムの推進について。</p>	教育長・所管部長
(2) 認可地縁団体の所有する不動産について	<p>認可地縁団体の所有する不動産登記の必要性が高まることが予想される。それに対応する必要性と取り組みについて尋ねる。</p> <p>①認可地縁団体の状況、所有する集会所等不動産の状況について。 ②認可地縁団体以外の所有する集会所等不動産の状況について。 ③認可地縁団体が所有する不動産に係る登記の特例の活用や周知について。</p>	所管部長

6. 泉澤信哉君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 東部環状線改良事業の現状と近隣の農業振興について	<p>平成19年4月に2車線にて暫定供用を開始した結果、東西の交通の利便性が増し、渋滞の解消に寄与しているが、震災等の影響により完成が大幅に遅れている。そこで、進捗状況と2車線にての全線開通予定を確認したい。</p>	所管部長

	<p>また、地権者だけではなく、地域の農業従事者からは、開通後の農作業にかかわる交通事情や周辺環境を心配する声もあるので、事前に解消できる課題は解決しておきたい。</p> <p>① 東部環状線建設の進捗状況を伺う。 (現状と供用開始予定など)</p> <p>② 地権者への説明状況等を伺う。</p> <p>③ 沿線周辺農業従事者への説明状況を伺う。 (農地を所有及び使用する地区外の方への周知など)</p> <p>④ 供用開始後の農業振興を伺う。 (交通環境と大型耕作機械使用等の課題や農地集積にかかわる課題など)</p>	
(2) 緑化推進による猛暑対策について	<p>第五次総合計画「緑の多い魅力のあるまちになる」を具現化するため「まちなか緑化推進事業」を継続しているわけだが、大きな目的に植物＝「緑」によるヒートアイランド現象の緩和がある。市街地に杜を創出等の施策や屋上緑化・壁面緑化等、緑化推進による「日本一暑いまち館林」の猛暑対策、生活環境の改善の現状と今後の考え方を伺いたい。</p> <p>① まちなか緑化推進事業の考え方を伺う。 (市街地に杜を創出する手法など)</p> <p>② 屋上緑化等の考え方を伺う。 (屋上緑化や壁面緑化についての現状の認識及び常緑キリンソウを用いた施策の提案など)</p> <p>③ 戦略としての緑化や猛暑対策を伺う。 (猛暑対策における緑化事業の先進地としての総合的な施策や日本一暑いまちを逆手に取った企画、及び総合計画や地方創生における総合戦略の位置付けなど)</p>	所管部長

7. 小林 信 君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) つつじが岡公園について	つつじが岡公園が県から移管になり、何がどのように変わったのか。市としてはどのように対応してきたのか。	所管部長

	<p>①管理面積が増大したが、管理体制について。</p> <p>②今年度の入園者が大幅に減少した原因について、及び誘客の努力はどのように行われてきたのか。</p> <p>③入園料減少による財政負担について。</p> <p>④フードコートの利用状況について。</p>	
(2) 四季型公園について	<p>つつじが岡公園に年間を通して観光客が訪れるために四季型化に取り組んでいるが、いつ頃本格的な四季型公園となるのか。</p> <p>①四季型公園という定義について、何をもちて四季型というのか。</p> <p>②家族連れで訪れる魅力ある公園にどのようにしようとしているのか。</p> <p>③四季型公園になって、経済的効果は望めるのか。</p>	所管部長

8. 篠木正明君 【一問一答】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 「地方創生」とまちづくりについて	<p>国はまち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び総合戦略を策定し、地方自治体においても人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定が求められている。「地方創生」でどのようなまちを目指すのか。本市の地方版総合戦略の基本的な考え方を問う。</p> <p>①「自治体消滅論」について、どのような見解を持っているのか。</p> <p>②国の「地方創生」施策について、どのように考えているのか。</p> <p>③総合計画と総合戦略の位置づけはどうなっているのか。</p> <p>④「地方創生」で館林市はどのように変わるのか。</p> <p>⑤総合戦略の施策の基本的方向をどのように考えているのか。</p> <p>⑥総合戦略に市民の意見をどのように反映させるのか。</p>	所管部長

9. 吉野高史君 【総括質問】

質問事項	質問要旨及び質問項目	答弁を求める者の職名
(1) 教育行政について （教育改革の課題とその対策について）	①基本的理念と充実について。 ②要点と課題及びその内容について。 ③学校教育への影響と課題について。	市長・教育長・ 所管部長